

2025年度グローバル・サービスラーニング B 実施報告(ホームページ掲載)

科目名	グローバル・サービスラーニング B 教員名 小関 隆志
実習先	フィリピン共和国 セブ島
実習期間	2026年2月26日(木)～3月11日(水)
テーマ	フィリピンのスラム地区で貧困と向き合う

目的(実習のねらい):

グローバル・サービスラーニング B は、フィリピン・セブ島においてボランティア活動を行う海外短期ボランティア実習です。実習中は現地の NGO の活動に加わり、貧困問題・教育・福祉・国際開発などアジア地域が抱える社会課題について取り組んでいただきます。

海上スラムなどで暮らす人々への支援や交流、観光・文化に関する訪問調査を通して、アジアの現状を知り、彼らが抱える課題と解決策について考えを深めることが目的です。



セブ市内の Tejero Elementary School にて(2026. 3. 1)。家庭の経済事情が厳しく、EMS(Eloy Memorial Scholarship)という日本からの奨学金を受けながら勉学に励む子どもたち(ピンクのユニフォーム)。明治大学の学生と子どもたちが互いにダンスを披露。学生は折り紙やけん玉を教えて交流しました。

実習報告:

フィリピン共和国のセブ島・マクタン島にて実習を行いました。

フィリピンは近年経済発展が著しく、なかでも観光地として人気の高いセブ島やマクタン島の街中には巨大なショッピングモールが至るところに建設されて、人々は豊かな消費社会を謳歌しています。しかし、公的な社会保障が充分ではなく、社会は深刻な経済格差や貧困の問題を抱えています。

日本にも貧困問題はありますが、フィリピンの人々が経験する貧困は一体どのようなものなのか。人々はどのように暮らしているのか、そして貧困問題に対して私たちにできることは何か。それを考えるため、スラム地区を訪れ、住民の方々と交流活動を進めました。

また、学生がグループに分かれて、グループごとにテーマを決めて、テーマに関連した場所を訪問するというも行いました。今回は、「観光」と「食文化」の2つのグループを設け、それぞれのテーマに沿って2日間訪問活動を行い、学んだことを発表しました。

海上スラム

活動の中心となったのは、マクタン島の空港からほど近くにある、「海上スラム」と呼ばれるコミュニティで、海岸沿いに建てた粗末な小屋が密集しています。住民たちはそこで肩を寄せ合い、助け合いながらたくましく生き抜いています。

今回は、海上スラムの通路の修復作業、アクセサリ作り、畑づくり、カレーの調理と提供を行いました。子どもたちともダンスや遊びで仲良くなりました。



子どもたちと一緒にダンスで盛り上がりました。



通路の修復作業の様子。ぼろぼろに傷んだ古い板材をはがし、新しい竹材を割って切り揃え、くぎで通路に打ち付け、補強しました。久しぶりの大工仕事に汗を流しました。



◀モリンガ

畑づくりの様子。生い茂る雑草をきれいに刈り取り、荒地を畑にする作業です。畑にはスーパーフードとも呼ばれるモリンガを植えて、住民の新たな収入源にする計画です。





アクセサリー作りの様子。日本人観光客にも買ってもらえる可愛いアクセサリーをデザインし、見本を制作して現地の住民に作り方を教えました。



手作りのカレーを、子どもたちに食べてもらいました！ 大好評でした

墓地スラム (2.28)

セブ市内にある公営のカレッタ(Carreta)墓地に住む、貧しい人々がいます。その人々のコミュニティは「墓地スラム」とも呼ばれています。墓地の中にいくつかの廟が建っており、住民は廟の建屋を住処としているのです。私たちは墓地スラムを訪れ、墓地内部を見学するとともに、子どもたちと楽しく交流しました。

墓地には、抛出したお金の多寡によって大きさの異なるお墓がずらりと並び、その脇には無縁仏を埋める原っぱが広がっていました。

墓地を住処にするというのは、日本人にとってはなかなか想像しがたいことですが、住民はこうした場所でもたくましく生きているんだなぁと感じさせられました。



墓地内の見学。写真左は立派な廟。住民の生活ぶりについて説明を聞きました。

写真右は一般の人々用のお墓のエリアで、一つ一つの枠に死者の名前や生没年が刻まれています。

タリセイ市大学 (3.9)

タリセイ市(Talisay City)は、セブ市の西隣にある市です。私たちはタリセイ市大学(Talisay City College)を訪問し、日本語の授業に参加するとともに、ダンスなどでタリセイ市大学の学生と交流しました。明治の学生による「恋するフォーチュンクッキー」のダンスは好評でした！



タリセイ市大学にて。歓迎セレモニーを催していただきました



タリセイ市は 2025 年 10 月に大きな台風が直撃したため、被災者に寄付と食事の提供を行いました。

グループ調査 (3.2、3.5)

「観光」と「食文化」の 2 グループが、2 日間をかけて、バディの案内で各地を訪問見学し、学びを深めました。実習の最終日には、学んだことをプレゼンテーションにまとめました。

【観光チーム】

セブ島は観光地として日本人の間にもなじみがある島ですが、“きれいな海”以外のイメージはあまり持っていません。具体的にはどのような観光地があるのでしょうか。

私たちは 2 日間にわたって、いくつか代表的な観光地を見学して回りました。観光地を巡ることで、島の歴史や文化、自然の魅力に改めて気づかされました。

サントニーニョ教会、マゼラン・クロス、サン・ペドロ要塞、テンプル・オブ・レイヤといった歴史的建物から、近年観光スポットとして



サントニーニョ教会

新たに整備された水族館（セブ・オーシャン・パーク）や花のテーマパーク（シラオ・ガーデン）、トップス展望台、庶民の台所であるカルボン・マーケットにも足を運び、新鮮な刺激を受けました。



16～18 世紀に建てられた、フィリピン最古の要塞であるサン・ペドロ要塞



フィリピン最大級の新しい水族館で、親子連れにも人気の高いセブ・オーシャン・パーク

【食文化チーム】

フィリピンには豊かな伝統料理の食文化がある一方で、スペインやアメリカ、中国などの食文化も入り混じり、ショッピングモールのフードコートには多彩な料理の店が立ち並んでいます。しかし、伝統料理は日本人にはほとんど知られていません。

私たちはフィリピン、特にセブ島の伝統的な食文化に関心をもち、伝統食の加工場を訪問しました。また、セブ島で大人気のアメリカン・ファストフード店にも立ち寄り、現地の人々がどんな味を好んでいるのか、味見してみました。



ファストフード店 Jollibee (ジョリビー)



豚の丸焼き「レチョン」の工場を見学。レチョンは、タリセイ市の伝統食で、祝い事などに供される

「プソ」の工場を見学。プソは、ココナツの葉にお米を入れて蒸した食べ物で、レチョンと一緒に供される

成果:

前年度に引き続き、海上スラムでの支援・交流を中心とした実習となりましたが、現地の住民のニーズに合わせて、活動内容を柔軟に計画しました。一方的に支援するというよりも、現地の住民とコミュニケーションを積極的にとり、意見を尊重しながら一緒に活動を楽しむことを重視しました。今回は、明治大学の学生と同年代のバディ6名が常に行動を共にし、日本人スタッフやコーディネーターはそれを見守りながら必要に応じて機敏にサポートする、という立ち位置を保ちました。それにより、学生がバディと相談しながら主体的に活動を進められたと思います。

今回は事前学習として、バディとのオンラインミーティングを開き、グループ調査の目的や問題意識、希望する訪問先・活動内容などをじっくり話し合いました。また、子どもたちとの交流や調理などのアクティビティの計画に際して、コーディネーターやバディと相談することで、現地のニーズに合った計画を立てて準備を進めることができました。

実習期間の後半では、学生が発熱等の体調不良に見舞われるアクシデントがありましたが、パニックに陥ることなく冷静沈着でした。コーディネーターやバディの献身的な対応により、アクシデントを乗り切ることができました。危機的状況への対応力という成果が得られたと思います。

その他:

学生の実習を企画運営した CEC ジャパンネットワーク <https://www.cec.j.net/>、現地の受け入れ団体の NGO、Strategic Livelihood Projects Cebu (SLPC) <https://go-cebu.com/> とそのコーディネーター、バディには大変お世話になりました。

学生の向上度:

(1) チームとしての行動力: 学生がチームを組んで何か一つのことを企画し、自分たちの判断で実行する力が高まりました。例えば、活動拠点でどんな料理を作って提供するか、グループでどこに訪問するかを事前学習で話し合い、またバディとも相談しながら時間をかけて計画を立てました。

(2) コミュニケーション力: コーディネーターやバディとふだんから会話することで、英語教師ではなく一般の英語話者の生の英語に触れながら実践的な英語でのコミュニケーションができ、オーラル・イングリッシュの能力向上がみられました。普段の学校生活では出会わない種類の人々とのコミュニケーションも多く、その点でコミュニケーション力自体も鍛えられたと思います。

講座の難易度:

全体の枠組みは現地受入団体やコーディネーターが用意しましたが、学生主体で企画運営した面も少なからずあります。難易度は中程度でしょう。